

ブチヒゲカメムシ

E 区の新設アカシヤの萌芽刈作業を切り上げての帰路、新設の避難東屋に立ち寄りましたら、白ペンキ塗りの腰掛の上に黒いカメムシが止まっていたので取り敢えずデジカメで撮影しておきました。2015年10月5日14時2分と記録されました。さて、こいつは何者なのかを調べてみて、ブチヒゲカメムシと判明いたしました。右の画像ですが、ピントが甘く、暗くて模様が分かりにくいのですが、触覚の白黒まだらが決め手です。左下のネットで探したより鮮明な画像をご覧ください。触角のブチ模様がはっきり分かります。和名の由来そのもので紛れがありません。装いは



渋い色づかいで、腹の側面のブチ加減もアクセントとなり、ちょっと粋な感じであります。10月になりましたので、虫の姿が殆ど消えてしまいました中で目にとまった1匹でした。気温が低いことで動かないでいてくれましたので、手で触れることもなく撮影できましたので、嫌な臭いを嗅がずにすみました。今年最後の出会いかも知れないのです。



森での出会いでしたが、こいつは意外にも悪役でした。農地でダイコン、ニンジン、ゴボウなどの野菜類の他マメ類や綿の実、ゴマの実、稲の実(米)をも吸液して、品質を落す被害をもたらす害虫として嫌われているのであります。

なにしろ11科36種類もの農作物が餌食にされるとの記載がありました。北海道では発生は年1回のようなのですが、道央では年2回発生するとかで、こいつは2回目の発生分と思われます。南に下り九州あたりでは年3回も発生するとありました。成虫態で越冬する。分布は日本全土。大きさは15mm前後です。

天敵としてアカヒョウタンハリバエに寄生されるとのことで、寄生蜂や蠅の世界も物凄く深いものがあるようで興味は尽きません。ついでに天敵の画像を右に掲載しておきます。こいつを生物農薬として活用する研究者を期待する次第であります。



この日はまずは車道沿い林内のゴミ拾いから始め、昼前には恒例になりつつあります「ホームックの森づくり」での東橋いちい幼稚園ご一行30人余のご来林でカミネツコン植樹をしていただきました。いつものことながら、やんちゃなちびっこたち園児を整列させたり、行列させたりする幼稚園先生たちの見ているだけでも楽しい指導術には敬服のいたりきたりでありました。